

中学1年生

皆さんが中学生になって早や八か月が過ぎました。やっと学校にも慣れてきて、部活も忙しくなってきた頃だと思います。

11月、中学生になって三回目の定期テストがありました。結果はどうでしたか？良くできた人、あまり良くできなかった人、様々だと思います。

確実に言えるのは、**6月に実施した一回目の定期テストとは比べ物にならないほど難易度が上がっていること**。英語ではアルファベットや挨拶、簡単な自己紹介だけだったものが、一般動詞と be 動詞の違い、命令文、形容詞の文など英単語のみならず文法もかなりのレベルアップをしているわけです。数学でも同様で、簡単な数式の計算問題が中心だったものが、比例・反比例と言った関数に発展し、より高度な思考力が必要とされています。

来年になるとさらに難しくなるのと同時に、今までの2～3倍の量の学習が必要となりますので、自分のレベルアップを図らないと良い点を維持するのは結構大変です。

さ・ら・にもう知っているかと思いますが、1回入試=今までのようなチャレンジ受験がしづらい入試が始まり、それと同時に【**1回みのテストで点数が取れたら合格、取れなかったら不合格**】という過酷な入試となっています。

若竹ではご存じのとおり、**常に受験を意識して**皆さんの指導にあたっています。

公立入試の問題は中学1～2年生の範囲から7割ほどが出題されます。しかも高校入試と言うものは、テスト範囲がありません。あえていうならば【**小学校・中学校学習領域の全範囲**】となります。ですからゆくゆくは中学校の定期テストとは比較にならないほどの広範囲を学習し、しかも1回のテストで結果を出さなければならないわけで、『定期テストでいつも2週間前からやって、そこそこ点数が取れているから大丈夫じゃん!?!』という考え方は非常に危険です。

そこで「冬期特別講習」！「**来年になったらもっと忙しくなるから1年生の範囲は今のうちに習得してしまおう!**」というわけです。

若竹の冬期特別講習では、**数学は2学期期末テストの内容を中心とした復習の内容、英語は2学期期末テストに向けての下地作りを中心に学習**します。この機会に【理論がわかっただけでは点数が取れない数学】と【点数に反映するのに時間がかかる英語】について今までわからなかった部分をわかるようにしちやいましょう！各学校の部活動を考慮して、夕方の時間に講習いたします。

1 期日

5日間

12月27日(日)・28日(月)・29日(火)
1月 4日(月)・ 5日(火)

2 時間

17:00 ~ 18:50

3 教科

2科(数学・英語)

4 時間割

① 17:00~17:50 英語【フユコレ】

② 18:00~18:50 数学【フユコレ】

※確認小テストに合格しない場合は、最大20:00まで居残り学習です

5、教材

数学

- ① 正負の数・文字式
- ② 方程式
- ③ 比例・反比例
- ④ 平面図形
- ⑤ 総合問題

英語

- ① be 動詞・複数形
- ② 一般動詞・代名詞・助動詞 can
- ③ 疑問詞・命令・勧誘
- ④ 現在進行形
- ⑤ 総合問題

6、冬期特別講習についての諸注意

- ◎ 学校が冬休みであっても、服装は『学校に準じた服装(ジャージ・制服)』ですので、注意してください。
- ◎ 講習日・時間等を再確認し、間違えないように注意してください。
- ◎ やむなく遅刻・欠席等する場合、或いは自習を希望する場合には、必ず保護者の方に連絡してもらってください。
- ◎ 基本的に通塾時の「買い食い」は禁止しております。コンビニ等に立ち寄りたい場合は、一旦帰宅した後、保護者の許可をもらってから行くようにしてください。
- ◎ 冬期講習は原則として全員参加となります。